

〈シロアリ〉

防草シート代わりに畑に敷いてある板切れが大分朽ちてきたので、燃やすことにした。地面に食い込んだ板を引きはがし、焚き火場まで運んだら板の裏にビッシリと白アリがくっついていて、暗い地中にいる彼らは突然日の光にさらされ右往左往の大混乱。ボロボロになった板の隙間から次々と出てくる出てくる。なんだかかわいそうだが、朽木は焼却処分したいので、混乱が収まるのを待つ。このシロアリ、調べてみるとアリではなくゴキブリの仲間、なんと3億年も前に誕生したとのこと。人間の大先輩である。



ゴキブリの仲間なのにアリの名前が付くのは、アリと同じく社会性昆虫だからということだ。王アリ・女王アリ、副王アリ・副女王アリ、兵隊アリ、働きアリの階層でそれぞれきちんと役割分担ができていて、自然界では役目を終えた枯れ木や落ち葉を分解する益虫として存在するが、たまたま床下の柱に取りつくると途端に“害虫”となって、駆除の対象になってしまう。畑にはまだまだ朽ちかけた板材があるので、今度シロアリのコロニーを見つけたら是非それぞれの階級を探し出してみたいと思う。

